アフリカ州

名前

問1　アフリカ諸国で見られる、特定の農産物や鉱産資源の輸出に経済を過度に依存する「モノカルチャー経済」の説明として、コートジボワールの事例をふまえて述べた次の文のうち、正しいものを選びなさい。（2022年 茨城県公立入試 類似）

1. コートジボワールでは、輸出額の大部分を天然ゴムが占めており、近隣のギニア湾沿岸諸国と協力して東南アジアへの輸出を拡大している。
2. コートジボワールでは、西アフリカ特有の乾燥した気候を活かした綿花の輸出が世界第1位であり、これが国家財政を支えている。
3. コートジボワールでは、輸出額の約28%を占めるカカオの生産が世界第1位であり、国際価格の変動が国内経済に大きな影響を与える。
4. コートジボワールでは、コーヒー豆の生産量が世界第1位であり、特定の農産物に依存しない多角的な農業経営が古くから行われている。

問2　エジプト文明を育んだナイル川は、古くから定期的な増水が発生することで知られています。ナイル川の上流から中流域における月別の流量を記録した統計において、8月から9月にかけて流量が急激に増加し、山なりの曲線を描く現象が見られますが、この理由として最も適切な説明はどれですか。（2017年 岐阜県公立入試 類似）

1. 下流域のエジプト周辺で冬季に雨季を迎え、河川に水が集中するため
2. 地中海からの海水が逆流し、河口付近の流量を押し上げるため
3. 上流域での夏季の降水量が増加し、その水が下流へ流れ込むため
4. 砂漠地帯の乾燥によって蒸発量が増え、一時的に流れが速くなるため

問3　南アフリカ共和国を含むアフリカ大陸南部は、世界の工業を支える重要な資源の産地として知られています。この地域で産出が盛んであり、先進国の電子機器製造などに大きな影響を与える資源の状況について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2020年 高知県公立入試 類似）

1. 地殻内の存在量がわずかで、電子機器の高性能化に欠かせないレアメタルが豊富に産出される。
2. アルミニウムの原料となり、熱帯の土壌であるラトソルから採掘されるボーキサイトが主な輸出額を占める。
3. 近代産業の基盤となる製鉄の主要な原料であり、広大な露天掘りで採掘される鉄鉱石の産出が集中している。
4. 産業革命期から主要なエネルギー源として利用されてきた、古期造山帯で採掘される石炭の国際的な供給拠点となっている。

問4　世界を構成する六大陸のうち、大陸の中央付近を赤道が通過しており、東部にケニアなどの国々が位置する大陸の名称を答えなさい。（2023年 埼玉県公立入試 類似）

1. 南アメリカ大陸
2. ユーラシア大陸
3. 北アメリカ大陸
4. アフリカ大陸

問5　コーヒー豆の国際価格が年によって激しく上下している状況において、輸出の多くをコーヒー豆などの特定の農産物に頼っている国々が、経済を安定させるために取り組むべき対策として最も適切なものはどれですか。（2022年 千葉県公立入試 類似）

1. 特定の農産物の生産量をさらに増やして輸出を集中させ、国際市場でのシェアを独占して価格を操作する。
2. 産業の多角化を進めて輸出する品目を増やし、特定の産品の価格変動が国全体に与える影響を分散させる。
3. 農作物の国際価格が下落した際に不足する輸出額を補うため、工業製品の輸入を大幅に増やして国内市場を活性化させる。
4. 国際価格の変動による影響を避けるため、貿易を制限して国内ですべての生活物資をまかなう自給自足へ移行する。

問6　ナイジェリアの輸出統計において、原油が圧倒的な割合を占めている現状を踏まえ、国際価格が下落した際にナイジェリア経済に生じる現象として、正しい説明はどれですか。（2023年 奈良県公立入試 類似）

1. 輸入依存度が低いため、輸出価格の変動が国内の物価や経済活動に影響を与えることはほとんどない。
2. 原材料を安く仕入れることができるようになるため、国内の製造業が活性化し、景気が浮揚する。
3. 輸出先を特定の国から全世界へ広げることで、価格下落による損失を補填できるようになる。
4. 輸出総額が大幅に減少し、教育やインフラ整備などの国家プロジェクトのための予算が不足する。

問7　アフリカ大陸の赤道直下に位置するケニアのナイロビ付近では、切り花のバラの栽培が盛んに行われ、日本やヨーロッパへ輸出されています。バラの栽培には「最低気温が15℃以上、最高気温が25℃以下」という条件が望ましいとされています。赤道付近でありながら、年間を通じて平均気温が20℃前後で安定し、バラの栽培に適した環境となっている主な理由として正しいものはどれですか。（2015年 長野県公立入試 類似）

1. 年間を通じて湿った季節風の影響を受けるため
2. 標高が高い場所に位置しているため
3. 周辺を流れる寒流の影響を強く受けているため
4. 緯度が高く、温帯の気候区分に属しているため

問8　ケニアなどの発展途上国における通信網の普及には、先進国とは異なる特徴が見られます。アメリカでは固定電話から携帯電話へと段階的に移行したのに対し、ケニアでは固定電話がほとんど普及しないまま携帯電話が急速に広まりました。このような普及の仕方が起こった背景として最も適切な説明はどれですか。（2024年 栃木県公立入試 類似）

1. 国民の所得水準がアメリカと同等まで上昇し、高価な最新式のスマートフォンを全国民が購入できるようになったため。
2. 広大な国土に電線を張り巡らせる固定電話に比べ、基地局を設置する携帯電話の方が初期整備コストを低く抑えられるため。
3. ケニア政府が、景観を保護するために屋外への電柱の設置や電線の敷設を法律で厳しく禁止したため。
4. 固定電話の通信技術は高度な専門知識を必要とするため、技術力の乏しい発展途上国では導入が不可能だったため。

問9　2015年の統計において、世界のダイヤモンド生産量の約33%を占めるロシアに次ぎ、世界第2位（約16%）の生産量を誇るアフリカ南部の国はどこですか。（2019年 千葉県公立入試 類似）

1. コンゴ民主共和国
2. ブラジル
3. ボツワナ
4. 南アフリカ共和国

問10　ザンビアにおける銅、ガーナにおける金やカカオといった特定の一次産品の輸出に頼る経済構造において、経済の安定を妨げる要因として最も適切な説明はどれですか。（2023年 北海道公立入試 類似）

1. 国際価格の変動や天候不順による不作の影響を直接受け、国家収入が激しく変動すること
2. 特定の産品を国内で消費しすぎるため、海外への輸出に回せる分が少なくなること
3. 工業製品の輸出が急増することで、国内の伝統的な農業の労働力が不足すること
4. 輸入に依存しない自給自足の体制が完成しており、外国との貿易が停滞すること

問11　日本が主催するTICAD（アフリカ開発会議）を通じた近年の日本とアフリカの関係について、アフリカの人口が急増し日本の人口が減少しているという人口動態の変化や、2015年から2021年にかけて現地における日本企業の拠点数が増加傾向にあるという状況を踏まえた説明として、最も適切なものはどれですか。（2025年 宮城県公立入試 類似）

1. アフリカの人口急増による食糧不足を懸念し、日本政府が主導権を握って現地の農業を完全に管理下に置く政策を強化している。
2. 日本企業の拠点数が減少傾向にあることを背景に、民間企業の撤退を促し、政府による開発援助のみに限定した関係を構築しようとしている。
3. アフリカの将来的な市場拡大を見据え、政府による一方的な援助から、民間企業の参画を促す対等なビジネスパートナーシップへと転換を図っている。
4. 日本国内の市場縮小を補うため、現地の自助努力を考慮せず、日本の公的資金のみを投入してインフラを独占する方針をとっている。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 コートジボワールでは、輸出額の約28%を占めるカカオの生産が世界第1位であり、国際価格の変動が国内経済に大きな影響を与える。	コートジボワールは、カカオの生産量において世界第1位の規模を誇ります。統計上でも輸出額の4分の1以上をカカオが占めており、特定の一次産品に頼るモノカルチャー経済の典型例と言えます。このような経済構造は、天候不順による不作や、国際的な市場価格の暴落が起きた際に、国の経済全体が不安定になりやすいという課題を抱えています。
問2	答え 3 上流域での夏季の降水量が増加し、その水が下流へ流れ込むため	ナイル川の源流は熱帯収束帯の影響を受けるアフリカの内陸部にあり、夏季に多くの降水があるサバナ気候などの地域を通過します。このため、夏季に増水した水が時間をかけて下流のエジプトへと到達し、定期的な洪水を引き起こしてきました。この洪水が上流から肥沃な土を運んだことが、古代エジプト文明の発展を支える要因となりました。
問3	答え 1 地殻内の存在量がわずかで、電子機器の高性能化に欠かせないレアメタルが豊富に産出される。	アフリカ大陸南部はコバルト、クロム、プラチナといったレアメタルの世界的供給地です。これらの資源はIT社会を支える精密機器やエコカーの製造に不可欠であるため、この地域での産出状況や輸出の安定性は、日本を含む世界の工業生産に直接的な影響を及ぼします。
問4	答え 4 アフリカ大陸	アフリカ大陸は、ユーラシア、北アメリカ、南アメリカ、オーストラリア、南極とともに六大陸の一つに数えられます。大陸の北部にサハラ砂漠、東部にケニアなどが位置しており、赤道が大陸を横切るように通っているのが大きな特徴です。
問5	答え 2 産業の多角化を進めて輸出する品目を増やし、特定の産品の価格変動が国全体に与える影響を分散させる。	モノカルチャー経済からの脱却には、産業の多角化（ダイバーシフィケーション）が不可欠です。農業だけでなく工業を育成したり、複数の輸出作物を育てたりすることで、一つの品目の国際価格が暴落しても、国全体の輸出額が受けるダメージを抑え、安定した国家予算の編成が可能になります。特定の品目へのさらなる集中は、かえってリスクを高めることになります。
問6	答え 4 輸出総額が大幅に減少し、教育やインフラ整備などの国家プロジェクトのための予算が不足する。	輸出の大部分を原油に依存している場合、原油の国際価格が下がると、国全体の稼ぎである輸出総額が激減します。その結果、政府の税収も減るため、道路や学校の建設といった社会開発に必要な資金が確保できなくなり、国民生活に悪影響を及ぼすことになります。この不安定さを解消するために、アフリカ諸国では工業化による産業の多角化が課題となっています。
問7	答え 2 標高が高い場所に位置しているため	赤道付近の低地は本来、熱帯雨林気候のように高温多湿な環境となりますが、標高が高くなると気温が下がる性質（高度が100m上がるごとに約0.6℃低下する）があります。ケニアのナイロビなどの高地では、赤道の強い日射を受けつつも標高の影響で気温が抑えられるため、年間を通じて気温の年較差が小さく、20℃前後の過ごしやすい気候が維持されています。
問8	答え 2 広大な国土に電線を張り巡らせる固定電話に比べ、基地局を設置する携帯電話の方が初期整備コストを低く抑えられるため。	発展途上国では、一軒一軒に電線を引く固定電話のインフラ整備には莫大な費用と時間がかかります。これに対し、携帯電話は基地局をいくつか設置するだけで広範囲をカバーできるため、初期整備コストが大幅に安く済みます。その結果、固定電話の普及という段階を飛び越えて、直接携帯電話が普及する現象が起きています。これは「リープフロッグ（カエル跳び）」現象とも呼ばれます。
問9	答え 3 ボツワナ	アフリカ大陸南部に位置するボツワナは、鉱業が経済の柱となっており、特にダイヤモンドは世界有数の生産量を誇ります。統計データではロシアが首位ですが、ボツワナも世界の約6分の1を占める重要な生産国です。南アフリカ共和国やコンゴ民主共和国も鉱産資源が豊富ですが、この統計における第2位のシェアはボツワナの特徴です。
問10	答え 1 国際価格の変動や天候不順による不作の影響を直接受け、国家収入が激しく変動すること	一次産品（加工度の低い農産物や鉱物資源）は、国際的な需要や相場によって市場価格が激しく変動するという特徴があります。また、農業生産品は天候によって収穫量が大きく左右されるため、特定の品目に輸出を依存していると、その価格暴落や不作が国全体の経済危機に直結するリスクがあります。このため、産業の多角化がこれらの国々の大きな課題となっています。
問11	答え 3 アフリカの将来的な市場拡大を見据え、政府による一方的な援助から、民間企業の参画を促す対等なビジネスパートナーシップへと転換を図っている。	アフリカは人口の急増により、将来的な「市場」としての重要性が高まっています。これを受け、日本はTICADを通じて、これまでの政府開発援助（ODA）中心の支援から、民間企業の参画による経済活性化へと重点を移しています。その際、アフリカ諸国が自ら発展を目指す「自助努力（オーナーシップ）」を尊重し、対等なパートナーとして共に成長する関係を目指していることが特徴です。